

DIDサポートチームが鈴鹿8耐を制覇!!

2015 FIM 世界耐久選手権シリーズ第2戦として位置付けられる「鈴鹿8時間耐久ロードレース第38 回大会」(以下、「鈴鹿8耐」という)の決勝において、DID サポートチームである YAMAHA FACTORY RACING TEAM (中須賀 克行/ポール・エスパルガロ/ブラッドリー・スミス)が、8時間で204 周を走り切り優賞。1996 年以来 19 年ぶりの栄冠に輝きました。



前日の最終予選で、2分6秒ジャストのスーパーラップを叩き出してポールポジションを獲得した同チームは、決勝のスタートで大きく順位を落としながらも、灼熱のコースに転倒が続出する中、クレバーなレース運びで徐々に順位を上げます。しかしながら、中盤以降には予想外のペナルティ(ピットストップ)により、手に汗握る接戦となりましたが、最終的にはマシンとライダー両方の総合力の高さを見せ付け、セーフティーカーが6回も入る荒れた展開のレースを見事に制しました。

今年設立 60 周年という大きな節目を迎えたヤマハは、鈴鹿8耐での優勝を勝ち取るべく 2002 年以來となるファクトリー体制を敷き、威信をかけて開発した新型マシン「YZF-R1」で、悲願を達成しました。同時に、DID サポートチームによる鈴鹿8耐制覇も 19 年ぶりとなりました。

同チームのマシンには、弊社製品であるレース専用 DID ドライブチェーンが装着されており、世界一過酷と評される真夏の8時間スプリント耐久レースにおいて、マシンのポテンシャルを最大限に引き出し優勝に貢献。DID チェーンの性能・品質の高さを実証すると同時に、同チームのマシンの両サイドに付された「D.I.D」のロゴマークを通じて、当社の存在感を示すことができました。

今後とも、世界の名だたるレースにおけるサポートを通じて、「D.I.D」ブランドの更なる確立と普及に努めると共に、グループ全体の企業価値の向上に資する取り組みを推進してまいります。